



## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月12日

上場会社名 株式会社カイテクノロジー 上場取引所 東  
コード番号 5581 URL https://chitech.co.jp  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)勝屋 嘉恭  
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)伊地知 高之 (TEL)03(6273)0408 (代表)  
四半期発行情報提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期 第3四半期の業績 (2023年9月1日～2024年5月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	2,821	△0.3	8	△89.8	34	△53.9	23	△52.2
2023年8月期第3四半期	2,828	—	81	—	74	—	48	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	5.49	5.42
2023年8月期第3四半期	11.47	—

- (注) 1. 2022年8月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
2. 2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの、当社株式は当該会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	1,915	660	34.5
2023年8月期	1,779	650	36.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 660 百万円 2023年8月期 650 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年8月期	—	0.00	—		
2024年8月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年8月期の業績予想 (2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,852	2.1	49	△31.9	40	△27.3	26	△31.6	6.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期3Q	4,200,000株	2023年8月期	4,200,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	一株	2023年8月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期3Q	4,200,000株	2023年8月期3Q	4,200,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2023年9月1日から2024年5月31日まで)における我が国経済は、企業業績及び雇用情勢の改善等に伴い緩やかな回復の動きが見られました。しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ情勢をはじめとする国際的緊張や世界的な物価の上昇、金融引き締め等による経済の減速も懸念されており、日本経済の見通しは不透明となっています。

経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2024年4月分確報」によると、情報サービス業の売上高は1,272,116百万円となり前年同月比2.2%増、うち受注ソフトウェアの売上高は705,491百万円で前年同期比7.1%増となり順調に推移しています。

企業や行政などにおけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)領域への投資は拡大しており、当社はこの潮流を成長の機会と捉え、「プラスαで快適(カイテク)な明日へ」というコーポレートミッションを掲げ、その実現のために「採用促進と教育体制の充実」、「IT人材育成サイクル」、「自社プロダクトの強化」の3つの基本方針を軸とした中期経営計画を推進しております。

「採用促進と教育体制の充実」については、第二新卒を含む若手社員の積極採用と、キャリアプラン支援、資格取得奨励制度の充実を進めています。

「IT人材育成サイクル」については、外部案件と自社プロダクト開発参画との社内異動・交流のサイクルをすることで技術力、開発力の強化を図ってまいります。

「自社プロダクトの強化」については、営業・マーケティングの強化、電子カルテ等の他社システムとの連携拡大による商品力の強化を行っております。

業界環境は好調な一方で、エンジニアの確保は大きな課題となっております。IT人材の確保難を発端とした受注機会の逸失が生じており、エンジニアの採用や育成環境の巧拙に業績が大きく左右される状況となっております。当社では、採用活動の強化に加え、人事評価制度のリニューアルや資格取得制度の拡充、社内メンター制度の運用などによる社員のエンゲージメントの強化に注力しております。

また、当社は顧客企業からの信頼を向上するため、顧客の将来のニーズを探り、提案・受注を進められるよう営業力の強化を図っております。

パッケージソフト販売においては、クラウド型サービス提供への移行を進めつつ、主要顧客であり、個別のカスタマイズ要求が多い医療機関には従来型のインストール型サービスのバージョンアップ対応も進めています。

このような状況下において、当社の当第3四半期累計期間につきましては、売上高2,821,076千円(前年同期比0.3%減)、営業利益8,365千円(前年同期比89.8%減)、経常利益34,452千円(前年同期比53.9%減)、四半期純利益23,066千円(前年同期比52.2%減)となりました。

当社はIT関連サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりますがサービス別の概況は、次のとおりであります。

システム開発サービス(SES・人材派遣)においては、外部パートナーの参画が増加したことから、売上高は1,884,480千円(前年同期比1.7%増)となりました。

受託開発サービスにおいては、開発案件の顧客検収が早期に行われた影響で、売上高は581,216千円(前年同期比1.5%増)となりました。

パッケージ販売サービスにおいては、新規顧客の拡大と併せてインストール版からWEB版へのリプレース需要の取り込みを進めましたが、顧客への浸透を図ることに手間取り、売上高は355,379千円(前年同期比11.7%減)に留まりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ156,533千円増加し、1,684,755千円となりました。これは主に営業活動及び資金調達の結果、現金及び預金が237,165千円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が81,926千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べ20,278千円減少し、231,009千円となりました。これは主に無形固定資産のその他(ソフトウェア)が10,835千円増加した一方で、のれんが償却により18,076千円、繰延税金資産が3,744千円それぞれ減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ88,118千円増加し、722,013千円となりました。これは主に1年以内返済長期借入金が15,954千円、その他(未払金等)が18,133千円それぞれ減少した一方で、1年以内償還社債が60,000千円、賞与引当金が48,513千円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末に比べ37,670千円増加し、533,062千円となりました。これは主に長期借入金70,742千円減少した一方で、社債が117,000千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ10,466千円増加し、660,689千円となりました。これは四半期純利益の計上23,066千円があった一方で、配当の支払い12,600千円により利益剰余金が10,466千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2023年10月13日に公表いたしました「2023年8月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。なお、本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。また、株式会社HICサービスの全株式を取得し、子会社化することによる2024年8月期の業績への影響については現在精査中であります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	996,782	1,233,948
受取手形、売掛金及び契約資産	446,511	364,584
商品及び製品	4,424	8,473
仕掛品	31,068	25,399
貯蔵品	2,931	4,197
その他	47,492	49,349
貸倒引当金	△989	△1,196
流動資産合計	1,528,222	1,684,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	90,013	90,013
減価償却累計額	△24,297	△31,048
建物及び構築物(純額)	65,716	58,965
工具、器具及び備品	27,618	27,618
減価償却累計額	△15,390	△17,472
工具、器具及び備品(純額)	12,227	10,146
有形固定資産合計	77,944	69,111
無形固定資産		
のれん	18,076	—
その他	8,050	18,885
無形固定資産合計	26,126	18,885
投資その他の資産		
繰延税金資産	72,572	68,828
その他	74,644	74,184
投資その他の資産合計	147,216	143,012
固定資産合計	251,287	231,009
資産合計	1,779,509	1,915,764

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	119,154	116,168
契約負債	67,219	77,043
賞与引当金	86,614	135,127
受注損失引当金	—	1,005
未払法人税等	425	6,274
1年以内償還社債	93,000	153,000
1年以内返済長期借入金	110,270	94,316
その他	157,211	139,078
流動負債合計	633,894	722,013
固定負債		
社債	249,000	366,000
長期借入金	168,537	97,795
資産除去債務	48,108	48,122
その他	29,746	21,145
固定負債合計	495,391	533,062
負債合計	1,129,286	1,255,075
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	28,200	28,200
資本剰余金	132,772	132,772
利益剰余金	489,250	499,716
株主資本合計	650,223	660,689
純資産合計	650,223	660,689
負債純資産合計	1,779,509	1,915,764

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,828,437	2,821,076
売上原価	2,048,541	2,096,942
売上総利益	779,895	724,133
販売費及び一般管理費	698,175	715,768
営業利益	81,720	8,365
営業外収益		
受取利息	27	21
助成金収入	5,451	12,576
雑収入	479	691
匿名組合投資利益	—	22,264
営業外収益合計	5,957	35,552
営業外費用		
上場関連費用	3,200	—
支払利息	2,339	1,552
社債利息	1,528	2,894
社債発行費	3,341	5,018
その他	2,518	—
営業外費用合計	12,926	9,465
経常利益	74,751	34,452
税引前四半期純利益	74,751	34,452
法人税、住民税及び事業税	319	7,641
法人税等調整額	26,218	3,744
法人税等合計	26,538	11,386
四半期純利益	48,213	23,066

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は2024年6月14日開催の取締役会において、株式会社H I Cサービス（以下「H I Cサービス」といいます）の全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社H I Cサービス  
事業の内容 情報システムの開発・運用・保守  
資本金の金額 27,000千円

② 企業結合を行う主な理由

H I Cサービスは創業以来、システムの受託開発、パッケージソフトの開発、企業の基幹システムやグループウェアの導入サポート業務及び仮想化・クラウド技術の提案・設計・構築・サポート等の情報システム関連の事業を展開しております。

当社は、大手システムインテグレーターと協力して、製造関連、物流関連、放送関連、金融関連など幅広い業界に向けたシステムの開発を行っており、大手システムインテグレーターの開発現場でのSES、人材派遣の他、要件定義から設計、プログラム制作、運用テスト、保守まで一貫したサービスを提供する受託開発を行ってきました。H I Cサービスの優れた人材と、当社の幅広い顧客基盤が合わさることで、新たなビジネス機会の創出や人材交流によるノウハウの共有などの大きな相乗効果が生まれ、相互の企業価値の向上が図れるものと判断し、株式取得を行うこととしました。

③ 企業結合日

2024年6月24日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得する株式数、取得価額、議決権比率の状況

異動前の所有株式数	0株（議決権の数：0個、議決権比率0%）
取得株式数	400株（議決権の数：400個）
取得価額	362,350千円（1株当たり905,875円）
異動後の所有株式数	400株（議決権の数：400個、議決権比率100%）

(2) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(3) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(4) 今後の見通し

本件取得により、H I Cサービスは2024年8月期第4四半期より当社の連結子会社となる予定です。それに伴い、2024年8月期より連結決算へ移行いたします。